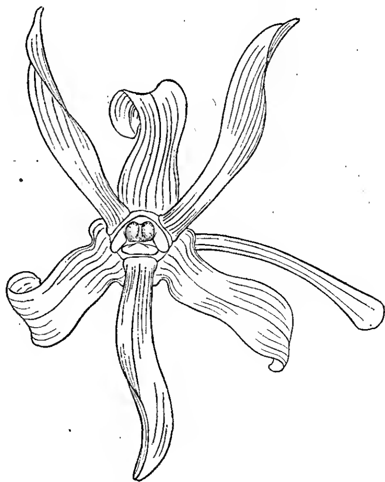
○らん科ノ一種ノ畸型　（津山　尙）

小生ガ南洋産ノらん科植物ノ研究中ニ出會シタ奇妙ナ畸型ヲ報告スル。ソレハトラック島ニ產スル未發表ノ *Dendrobium* 屬ノ植物デ、最近 *D. Okabeanum* トシテ發表スル筈ニナツテキルモノニ起ツタ例デアル。コノモノハ花序ハ 20–30 cm ニ達シ、ソノ上ニ直徑 4–5 cm 許ノ綠黃色ニ紫色ノ紋ノアル花ヲ稍密ニ生ズル種類デ、ミクロネシアニハ初メテノ *Ceratobium* 節ニ屬スルモノデアル。小生ガ今春、同島ノ夏島ノトノマン山デ採集シタ一株ハ丁度花ガ滿開中デアツタガ、凡テノ花ハ皆普通ノ花瓣ト質、色、形共ニ全ク同ジノ唇瓣ヲ有シ、又 *Dendrobium* 屬ニ普通ニアル顎（2 個ノ側萼片及ビ唇瓣ノ基部デ形ヅクラレル。）ヲ全然有シナイモノデアツタ。ソレ故ニ正常ノモノヲ見ナイ中ハ、原始的ナ形態ヲ有スル *Dendrobium* 屬カ又ハソレニ近イ別屬デアラウト思ツタガ、ヨク見ルト蕊柱ニモ變化ガアツテ、葯ハアツテモ正常ノモノヨリ少シク小サク、又柱頭洞ヲ全然缺イテキテ、通常ナラバ蕊柱ノ先端ノ左右ニノミアル齒狀突起ガ、下面ニモ生ジテキテ、柱頭ノ位置ヲ塞イデキルコトガ判ツタ。



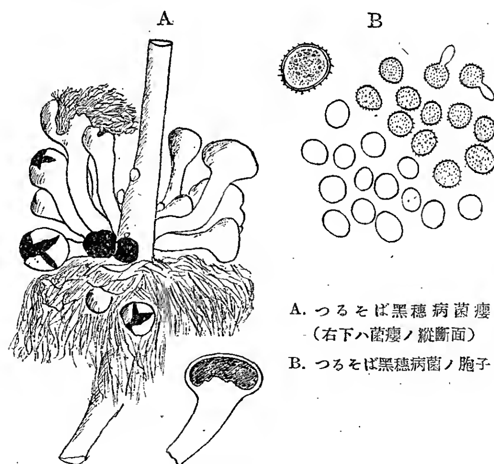
コノ様ナ特殊ナ、一見シタ所デハ畸型ラシカラヌ畸型ガ一株ノ全部ノ花ニ起ルト、一寸研究者ヲ誤ラセサウデアル。コウ言フ例ハ滅多ニ起ルモノデハアルマイ。フィリッピンノらん科ヲ研究シテキル QUISUMBING 氏ハ 1932 年以來 Teratology of Philippine Orchids ナル表題デらん科ノ畸型ヲ發表シテキルガ、ソノ第 2 報（Philip. Journ. Sci. 57）デ *Phalaenopsis Sanderiana* REICH. fil. ニ起ツタ略同様ナ例ヲ報告シテキル。コノ場合モ亦、一株ノ凡テノ花ノ唇瓣ガ普通型ノ花瓣ニトツテ代ラレテキルガ、蕊柱ニハ葯ガナクナリ、先端ニ 3 個ノ小突起ヲ生ジ、柱頭洞ハ消滅シテキナイ。

前ニ花瓣ガ唇瓣化シテ距ヲ 3 個有スルたちつぼすみれノ一株ヲ採ツタコトガアルガ、今述ベタ例ハ逆ニ唇瓣ガ原型ニ歸ツタ場合デアル。

○つるそばノ黑穗病菌ヲ下甑島ニ採ル　（井手清治）

つるそば黑穗病菌（*Farysia emodensis* [BERKELEY] SYDOW）ハ、つるそば（*Polygonum chinense* L.）ノ莖ニ茸狀ノ菌癭ヲ作ル面白イ菌デアルガ、主トシテセイロン、ジヤバ、臺灣熱帶地方ニ分布シ、日本ニ於ケル產地ハ臺灣アルノミナリ。筆者ハ此菌ヲ薩摩國、甑列島ノ下甑島長濱附近ニテ採集（昭和 8 年 4 月 2 日）シ、內地ニモ分布シ居ルヲ知リタリ。未ダ內地ヨリノ報告無キヤウナルヲ以テ此所ニ記ス。同好ノ士ノ御參考トナラバ幸ナリ。

菌癭ハ圖及ビ寫眞ニ示ス如ク茸狀ニシテ莖ノ所々ニ簇生シ、表面ハ平滑、表皮下ノ組織細胞內ニハ葉綠粒ヲ含ムヲ以テ外色ハ綠色デアル、熟スルト頭部ノ內部ハ胞子デ充滿サレ、ヤガテ破レテ綿絮樣物ト胞子トヲ溢出飛散スル。菌癭ヲ生ジテキル莖ノ部分ハ稍太クナツテキル。氫列島ハヘご等ノ熱帶性植物ニ富ム島デアル。



A. つるそば黑穗病菌癭
（右下ハ菌癭ノ縱斷面）
B. つるそば黑穗病菌ノ胞子

文　獻

H. SYDOW: Beiträge zur Kenntnis der Pilzflora des südlichen Ostindiens (An. Myc. XVII. p. 486, 1914).

G. MASSEE: Diseases of Cultivated Plants & Trees. p. 343–344, 1910.

MC ALPINE: The Smuts of Australia 1910.

澤田兼吉: 臺灣菌類調査報告第一篇 p. 314, 1919.

ENGLER-PLANTL: Die Natürlichen Pflanzenfamilien 2 Aufl. 6 Band. S. 13. 1928.

伊藤誠哉: 大日本菌類誌第二卷第一號 p. 61. 1936.